専門・認定看護師　ニュースレター

第14号
発行日：2026年10月
専門・認定看護師会
腎不全看護認定看護師
大森眞由美

専門・認定看護師会では、専門・認定看護師の活動報告や各領域の専門知識をワンポイントアドバイスでお知らせするため、ニュースレターを発刊しています。

在宅でできる透析　「腹膜透析（PD）」

腎臓の働きを代わりに担う治療（腎代替療法）には、血液透析・腹膜透析・腎移植があります。
今回は、自宅で行う「腹膜透析」についてご紹介します。



腹膜透析とは

おなかの中にある**「腹膜」**をフィルターとして使い、血液中の老廃物や余分な水分を取り除く治療です。

体への負担が比較的少なく、生活に合わせて**自宅などで行える**のが特徴です。

腹膜透析には、大きく2つの方法があります

CAPD（連続携行式腹膜透析）



- 1日3～5回程度、手動でバッグを交換します
- 1回の交換は30分ほどです
- 交換の合間は、普段どおりに過ごせます
- ＝バッグ交換

APD（自動腹膜透析）



- 寝ている間に、機械が自動で交換します
- 導入時は日中の交換がなく、必要に応じて追加します
- 仕事や学校と両立しやすい方法です

★ 自分で行うのが基本ですが、家族や訪問看護師が支援する**「アシステッドPD」**という考え方もあります。

活動報告　PDバッグ交換 実技勉強会を開催しました

9月3日（木）、専門・認定看護師会研修「腎不全患者の看護」第3回として開催し、
院内3名、訪問看護ステーション・透析クリニック15名の**計18名**が参加しました。
講義で基礎を学んだ後、ヴァンティブ社の協力のもと実機でバッグ交換を体験しました。





※写真は、参加者の同意を得て掲載しています

アンケート（回答13名）では、全員が「理解できた」「実践に活かせそう」と回答しました。
「実際の機械に触れたことがなかったので、とても勉強になりました」などの声をいただきました。

勉強会は来年度も開催予定です。PDに興味のある方は、ぜひご参加ください！